

生産技術人材育成講習会

～次世代型食品工場への進化プロセス～

第2回：経営成果を出すデータ主導への改善

～“探すムダ”の経済分析と現場に馴染む“身の丈IoT”の実装～

2026年

6月25日(木) 13:00～14:30

オンライン開催/受講無料



お申し込みはコチラ！

食品工場の自動化に向けた技術者育成は、経験や現場ごとの工夫に大きく依存してきた一方で、体系的に学ぶ機会は限られており、人材育成や技術継承に課題を抱えているのが現状です。

そこで、本講習会では、食品工場の自動化に必要な実践的な知識と技術を体系的に学ぶ全4回の構成とし、工場がどの段階を経て進化していくのかを捉え、各回は完結したテーマで構成し、現場で活かせる視点を提供します。

また、「管理技術（IE）」を土台とした人間中心の現場変革を重視し、単なる効率化や省人化にとどまらず、効率化で生まれた時間やリソースを人への投資（教育・高付加価値業務への転換）へ再配分することを目指します。

こんなお困りごとがある人にオススメ

- ✓ 設備担当者だが、設備の故障やメンテナンスの際に基礎知識がなく戸惑う。
- ✓ 業務改善する上で、優先順位をつけて取り組めるようになりたい。
- ✓ 社員教育のため、生産管理に関するツールや学習教材を探している。
- ✓ 現場の人手が足りず、ロボット等の自動機の導入を検討している。



第2回：経営成果を出すデータ主導への改善 ～“探すムダ”の経済分析と現場に馴染む“身の丈IoT”の実装～

開催日：2026年 6月25日(木) 13:00～14:30

講師：大阪工業大学 教授 皆川 健多郎 氏

【内容】

「経営成果 = 管理技術 (IE) × 経営資源」の方程式に基づき、経営成果のための経営資源を徹底活用する管理技術の重要性について解説します。現場の「モヤモヤ」を具体的な数字で見える化し、優先順位を意識した意思決定方法の考え方について説明をいたします。

【本回で得られること】

現場の「見えないロス」を数値化し、科学的な改善ターゲットを特定する手法を学びます。具体的には、探し物などのムダを金額や時間に換算する経済分析を行い、整理・整頓の真の価値を再認識します。また、安価なセンサー等を活用した「身の丈IoT」の実装法を習得し、経験や勘に頼る管理から、データに基づく客観的な管理への転換を図ります。

【ねらい】

データを活用して「科学的な根拠」に基づき、人がいきいきと輝く現場を自ら設計できるスキルの習得を目指し、データ収集と現状把握の基礎を固めます。

講師紹介



大阪工業大学 教授 皆川 健多郎 氏

大阪工業大学大学院博士後期課程修了、博士（工学）。専攻は経済性工学、IE。1,000回を超える現場訪問を通じた現場第一主義のエキスパート。日本経営工学会副会長、日本設備管理学会副会長などを歴任。

【業績】IE文献賞・貢献賞、日本経営工学会・特別功労賞受賞

開催形式：オンライン（Microsoft Teams）

対象者：食品企業生産性向上フォーラム会員

参加費：無料

申込方法：<https://forms.office.com/r/gr6MmMEkyN>

※申込み期限：2026年6月23日12時まで

その他：講習後のテストで基準を満たした方に、修了書をお送りします。

第3回は7月13日を予定しております。詳細決まり次第、ご案内致します。



食品企業生産性向上フォーラムとは？

食品産業に係る国の施策情報などの情報を食品企業や機械メーカーの皆様にご提供いたします。フォーラムでは、食品製造業の自動化設備/施設の導入、機械化、DX、食品製造現場における生産技術人材育成の支援します。どなたでも無料で参加可能ですので、ぜひフォーラムを活用して生産性向上にお役立てください。

